

# Classi 配信 チャレンジテスト (1回目)

／100

<問1> 10点

設問1 徳川家康に関することについて述べた文として正しいものはどれか。

- a 関ヶ原の戦いで西軍の中心になった豊臣政権の五奉行の一人で内政面に練達した人物は、加藤清正である。
- b 関ヶ原の戦いは、西軍の敗北に終わったが、西軍の武将のうち、朝鮮出兵で活躍し、キリシタン大名としても有名なのは毛利輝元である。
- c 征夷大將軍の職は、1605年に徳川家康の3男に譲られ、家康の子孫が継承することが世に示された。この3男とは徳川家光である。
- d 徳川家康は東国支配のため、北条氏の支城を根拠地としたが、その城の所在地は江戸である。

<問2> 10点

設問1 武家諸法度によって大名統制のために明文化された制度として正しいものはどれか。

- a 幕領
- b 参勤交代
- c 月番交代
- d 軍役

<問3> 10点

設問1 江戸幕府の職制のうち、政務を統轄していた常置の最高職の名称として正しいものはどれか。

- a 老中
- b 大老
- c 若年寄
- d 大目付

<問4> 10点

設問1 江戸幕府の職制について述べた文として正しいものはどれか。

- a 江戸幕府の職制のなかで、三奉行と総称された役職は勘定奉行・町奉行・遠国奉行である。
- b 三奉行のうち、旗本から選任され、江戸市中の行政・司法・警察を担当し、南北両奉行からなっていたのは勘定奉行である。
- c 幕府の非常時に老中の上位におかれた幕府の最高職を大老という。
- d 老中の下にあり、特に大名の監察にあたる職を若年寄という。

<問5> 次の空欄に適語を入れなさい。

設問1 豊臣氏の滅亡について 10点×4問 = 40点

1603年に征夷大將軍となった徳川家康は、早くも1605年に將軍職を子の(①)にゆずって將軍の徳川氏世襲を示し、(②)として駿府で実権をにぎった。そして(③)鐘銘事件を契機に大坂の役をおこし、翌年豊臣(④)を滅ぼした。

【選択肢】 秀頼 大御所 秀忠 方広寺

<問6> 江戸幕府の大名統制に関して, 次の文の内容が正しければ○, 誤っていれば×を選びなさい。10点  
設問I 大名統制のための法令として武家諸法度を制定し, 違反した大名に改易や減封などの処罰を与えた。

<問7> 10点

設問I 幕藩体制に関することについて述べた文として正しいものはどれか。

- a 大坂の役の直後に, 幕府は諸大名に対し居城以外の城は破却するように命じたが, この法令を武家諸法度という。
- b 関ヶ原の戦いに勝利した徳川家康は, 征夷大將軍に任じられ幕府を創設したが, この幕府を室町幕府という。
- c 江戸幕府3代將軍で, 幕府の支配体制を確立した人物は徳川秀忠である。
- d 強力な領主権をもつ將軍と大名が, 土地と人民を統治する支配体制を幕藩体制という。

## 【解答】

問1 正答 d

<解説> a 「加藤清正」ではなく「石田三成」が正しい。 b 「毛利輝元」ではなく「小西行長」が正しい。  
c 「徳川家光」ではなく「徳川秀忠」が正しい。

問2 正答 b

問3 正答 a

問4 正答 c

<解説> a 「遠国奉行」ではなく「寺社奉行」が正しい。 b 「勘定奉行」ではなく「町奉行」が正しい。  
d 「若年寄」ではなく「大目付」が正しい。

問5 正答 1 秀忠 2 大御所 3 方広寺 4 秀頼

問6 正答 ○

<解説> 大坂の役で豊臣秀頼を滅ぼしたのち、幕府は2代将軍秀忠の名で、大名統制を目的とした武家諸法度(元和令)を發布した<1615>。武家諸法度は原則として将軍に代替わりごとに發布され、違反者は改易・減封など厳罰に処せられた。

問7 正答 d

<解説> a 「武家諸法度」ではなく「一国一城令」が正しい。 b 「室町幕府」ではなく「江戸幕府」が正しい。  
c 「徳川秀忠」ではなく「徳川家光」が正しい。